

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-68613

(43)公開日 平成5年(1993)3月23日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 4 7 B 77/10		9134-3K		
88/00	Z	6578-3K		
F 2 4 C 15/12	E	6909-3L		

審査請求 未請求 請求項の数3(全 3 頁)

(21)出願番号 特願平3-229983

(22)出願日 平成3年(1991)9月10日

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 江口 都喜子

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器

産業株式会社内

(74)代理人 弁理士 小鍛冶 明 (外2名)

(54)【発明の名称】 厨房装置

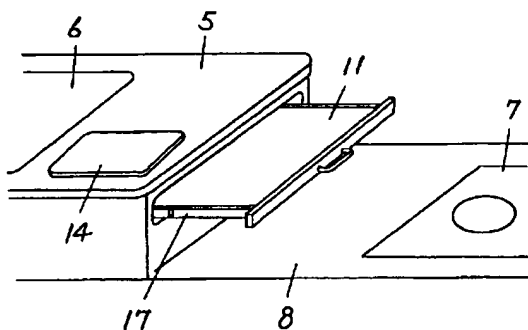
(57)【要約】

【目的】 本発明はかかる従来の課題を解消するものでワークトップ上での使い勝手を向上することを目的とするものである。

【構成】 ワークトップ5にシンク6が設けられ、ワークトップ5より一段低いところにコンロ7の上面テーブル8があり、コンロ7が設けられている。ワークトップ5の側面に補助テーブル9が設けられている。

【効果】 以上の実施例の説明により明らかなように、本発明によれば、本発明の厨房装置は、上記構成によりまた板をワークトップ上面に置いて、一段低いコンロ上面に容器を置き、前記まな板上で野菜などを切った後は、そのまま滑らして容易に容器に入れることができる。さらに、ワークトップの突出部の立ち上がり面に引き出し自在とする補助テーブルを設けているため作業スペースが広がることになるという効果を奏するものである。

5 ワークトップ 上面
6 シンク
7 コンロ
8 コンロ 上面
11 補助テーブル
14 まな板



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ワークトップの側面部に、ワークトップ上面より一段低くしてコンロ上面を配置するとともに、ワークトップとコンロ上面部との境部に位置する立ち上がり面にコンロ側へ引き出し自在とする補助テーブルを設けてなる厨房装置。

【請求項2】 ワークトップとコンロ上面部との境部に位置する立ち上がり面にコンロ側へ引き出し自在とする引き出しを設けた請求項1記載の厨房装置。

【請求項3】 ワークトップとコンロ上面部との境部に位置する立ち上がり面に引き出し自在とする五徳を設けた請求項1記載の厨房装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、厨房装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来のこの種の厨房装置は、図6に示すように、ワークトップ1にシンク2上面とコンロ3上面とが同じレベルで配置されていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】このような従来の構成のワークトップ1の高さは図6に示すようにワークトップ1上にまな板4をセットしての切作業に適しているが、例えば切り終わった後の野菜は、まな板4を持ち上げて容器に移さなければならない。また、コンロに深鍋をセットしての調理作業が鍋高さが高いことから作業がしづらいという課題を有していた。

【0004】本発明はかかる従来の課題を解消するものでワークトップ上での使い勝手を向上することを目的としている。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明の厨房装置の第一の手段はワークトップの側面部に、ワークトップ上面より、一段低くしてコンロ上面を配置するとともに、ワークトップの立ち上がり面に引き出し自在とする補助テーブルを設け、第二の目的は、ワークトップの立ち上がり面に引き出し自在とする引き出しを設け、また第三の目的は、補助テーブル上に五徳を設けた物である。

【0006】

【作用】本発明の厨房装置は、上記構成によりまな板をワークトップ上面に置いて、一段低いコンロ上面に容器を置き、前記まな板で野菜などを切った後は、そのまま滑らして容易に容器に入れることができる。さらに、ワークトップの立ち上がり面に引き出し自在とする補助テーブルを設けているため作業スペースが広がることになる。

【0007】

【実施例】以下、本発明の一実施例を添付図面に基づい

2

て説明する。図1、図2、図3、図4において、5はワークトップで、このワークトップ5にシンク6が設けられる。ワークトップ5より一段低いところにコンロ7の上面テーブル8が設けられ、上面テーブル8上にコンロ7が設けられている。ワークトップ5の側面に開口9があり、収納部10が設けられている。収納部10にサスペンションレールを介して手前方向へ移動自在の補助テーブル11が設けられている。補助テーブル11は補助テーブル11の下部にマグネットの係止部12を備え、開口部に設けている鉄片の係止受部13により一定位置で停止、及び移動を行う。

【0008】上記構成においてワークトップ5上に、まな板14を置いてコンロ7の上面テーブル8に容器を置き、例えば、野菜など切った後、まな板14上を滑らすように野菜を容器に入れることができる。さらに、ワークトップ5の側面に補助テーブル11を設けているので、必要な場合に引き出し、より作業調理スペースが広がる。

【0009】なお、上記実施例では補助テーブル11としたが、これに限定されるものではなく、図3に示すように引き出し自在と引き出し15を設けても良い。また、図4に示すように鍋置き五徳を載置した五徳載置テーブル16を引き出す構成、また、図5に示すように側面から補助テーブル11を、同側面下部から五徳載置テーブル16を引き出す二つ同時に組み込む構成のものでも本発明の効果を達成するものである。

【0010】

【発明の効果】以上の実施例の説明より明らかなように、本発明によれば、本発明の厨房装置は、上記構成によりまな板をワークトップ上面に置いて、一段低いコンロ上面に容器を置き、前記まな板上で野菜などを切った後は、そのまま滑らして容易に容器に入れることができる。さらに、ワークトップの立ち上がり面に引き出し自在とする補助テーブルを設けているため作業スペースが広がることになるという効果を奏するものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示す厨房装置の外観斜視図

【図2】同厨房装置の側面断面図

【図3】同他実施例を示す外観斜視図

40 【図4】同他実施例を示す外観斜視図

【図5】同他実施例を示す外観斜視図

【図6】従来例を示す平面図

【符号の説明】

5 ワークトップ上面

6 シンク

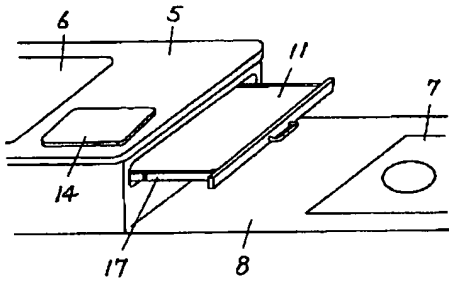
7 コンロ

8 コンロ上面

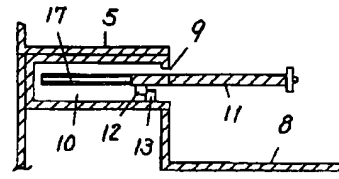
11 スライドテーブル

【図1】

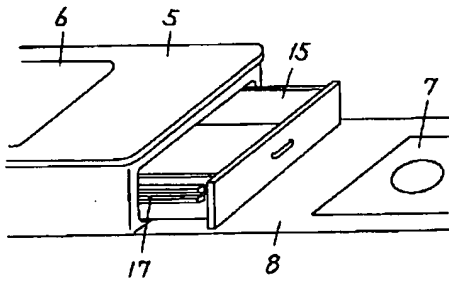
- 5 ワークトップ上面
 6 シンク
 7 コンロ
 8 コンロ上面
 11 補助テーブル
 14 まな板



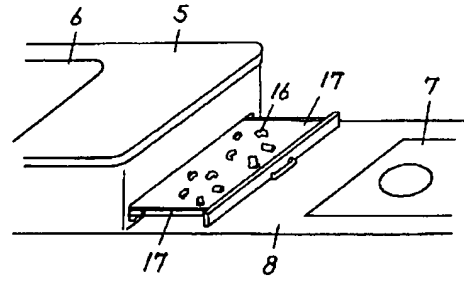
【図2】



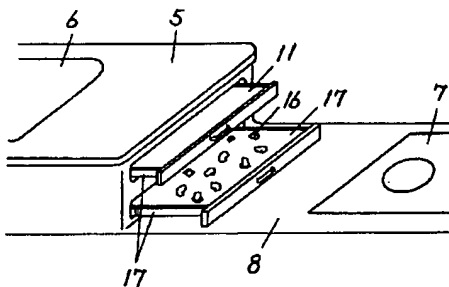
【図3】



【図4】



【図5】



【図6】

